

秋葉だより



5月号

令和 8年 4月 22日

風薫る季節

校長 近藤 伸

入学式の頃に残っていた桜の花びらも散り、今は目に鮮やかな緑の葉が目飛び込んできます。校庭ではこの季節には可愛らしいうぐいすの鳴き声も聞こえてきます。

今年度の学校生活が始まって、3週間が経とうとしていますが、少しずつ今の学年や学級にも慣れてきた頃ではないでしょうか。5月は気候が安定し、1年でも最も学習に適した時期ではないかと思います。子どもたちが日々の学習や学校生活で自分のよさを十分発揮し、また学級や学年の中でも友だちと協力して活動できるように指導してまいります。

さて、教職員たちは今年も校内研究に取り組んでいます。小学校では様々な教科を指導していますが、その中でも「生活科」「総合的な学習の時間（秋葉の時間）」を取り上げ、よりよい指導の在り方や子どもたちがより探究できるような材（学習材）などについて実際の研究授業などを通し、研究を深めています。「生活科」「総合的な学習の時間（秋葉の時間）」を通した研究は3年目になりますが、今年度も子どもたちが「不思議だな。なんでだろう。」「調べてみたい。見てみたい。話を聞きたい。調べたことを伝えたい。」などといった気持ちやつぶやきを大切にしながら研究をしていきたいと考えています。これからの時代を生きる子どもたちには自ら問いをもち、探究し、問題を解決していく力が求められます。また、そのような力は他の教科の学習や活動でも生きて働く力となるはずで、保護者の皆様や地域の方々にも様々な機会でお世話になることも多いと思いますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

また、29日（水）の「昭和の日」を皮切りに大型連休が始まります。4月からの疲れもたまる頃です。ゆっくりと体調を整えたり、普段できない体験をしたりして楽しく充実した連休にしていだければと思っています。健康や交通事故、水辺の安全にも十分注意していただき、また連休明け、私も元気に登校してくる子どもたちを迎えたいと思っています。